

日本 NPO 学会 2021 年度定時総会 議事録

開催概要

日時：2021 年 6 月 18 日（金）19:00～20:45

場所：日本 NPO 学会事務局

〒770-8502 徳島県徳島市南常三島町 1-1 徳島大学総合科学部公共政策学研究室

開催方法：上記の事務局を拠点に、WEB 会議ツール「Zoom」(<https://zoom.us/>)を利用した開催

出席会員数：40 名

議案・配布資料

- ・別添の議事次第および配布資料を参照（いずれも電子データでの配布）

1. 総会の成立、進行、出席者の確認

- ・総会の成立の確認

会則第 12 条の定めにより、総会が成立していることが確認された。

- ・議長

会則第 13 条の定めにより、石田祐会長が議長を務めることが確認された。

- ・議事録署名人の選出

会則第 15 条に基づき、議事録署名人として、青尾謙会員、菅野拓会員が選出された。

2. 審議事項の経過と結果

(1) 第 1 号議案：2020 年度事業報告案について

石田会長より、2020 年度事業報告が行われた（第 1 号議案資料）。事業報告として、スタディグループ活動助成金事業の再検討、国際研究ネットワークとの交流・連携、第 22 回年次大会の開催、第 23 回年次大会の準備・運営、セミナーの開催、学会誌第 20 巻第 1 号及び 2 号の発行、日本 NPO 学会賞の選定と授与、災害等対応、総会・理事会・委員会の開催および活動報告、会員動向報告、財務管理、などについての説明が行われた。

質疑等

なし

承認事項

審議の結果、第 1 号議案は原案通り承認された。

(2) 第 2 号議案：2020 年度決算報告案について

石田会長より、2020 年度決算報告が行われた（第 2 号議案資料）。一般会計の当期正味財産増減額が 396 万 4,626 円であったこと、会費徴収の適正化を図り徴収率が向上したこと、第 23 回研究大会開催に関して公益財団法人村田学術振興財団から 40 万円の助成を受けることになったこと、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により会議費や旅費の支出が大幅に抑制されたこと、などについて説明が行われた。また、小田切事務局長から、上原優子監事及び濱口博史監事によって作成された 2020 年度監査報告書について紹介が行われた（第 2 号議案参考資料）。

質疑等

なし

承認事項

審議の結果、第 2 号議案は原案通り承認された。

(3) 第 3 号議案：会則改正案について

三木組織運営委員長より、会則改正案について提案が行われた（第 3 号議案資料）。コロナ禍において理事会や委員会を Zoom 等の電磁的方法を用いた遠隔開催をせざるを得ない状況にあること、そして、そうした電磁的方法による会議開催について会則に定めること、などについて説明があった。

質疑等

なし

承認事項

審議の結果、第 3 号議案は原案通り承認された。

3. 報告事項の経過と結果

(1) 2021 年度事業計画について

石田会長より、2021 年度事業計画案について報告があった（報告 1 資料）。第 23 回研究大会の開催及び第 24 回研究大会の企画・準備、各種セミナーの開催、国際研究ネ

ットワークとの交流・連携、学会誌の発行、対外的アドボカシー活動、研究倫理の検討、広報体制の整備、会員数の拡大、そして、コロナ禍における学会対応、などについて説明が行われた。

質疑等

なし

(2) 2020 年度予算について

石田会長より、2021 年度予算案について報告があった（報告 2-1 資料及び報告 2-2 資料）。予算案として 689 万円の経常収入及び 637 万 1,000 円の経常費用を計上していること、学会誌を 2 回発行予定であること、セミナーを定期的を開催すること、会費納入率をさらに向上させること、学会事務局職員の雇用が難しくその分の人件費を計上しないこと、などについて説明が行われた。

質疑等

・なし

(3) 会則施行細則について

三木組織運営委員長より、会則施行細則の策定について報告が行われた（報告 3 資料）。理事会や委員会開催で利用されている Zoom 等の電磁的方法を用いた会議開催の方法について、その決議の要件等を定めたこと、また、それらを従来の「電子メール等による理事会決議に関する細則」を改正する形でまとめたことについて説明があった。

質疑等

なし

(4) 会員名簿取扱規程について

三木組織運営委員長より、会員名簿取扱規程の策定について報告が行われた（報告 4 資料）。会員の皆様の個人情報管理のあり方が規定されていること、会員名簿の管理方法や、会員名簿情報の公開、会員間利用のための手続きなどが含まれること、について説明があった。

質疑等

なし

(5) 学術研究委員会主催ウェビナーについて

岡田学術研究委員会委員長より、学術研究委員会主催ウェビナー開催について報告があった（報告 5 資料）。2021 年 3 月 15 日にポスト・コロナをテーマにしたセミナー、3 月 25 日に国際学会 ISTR との共催セミナー、そして、5 月には第 23 回研究大会発表者向けのセミナーを、それぞれ開催したことについて説明が行われた。

質疑等

なし

(6) 2021 年度スタディグループ活動助成金事業について

岡田学術研究委員会委員長より、2021 年度スタディグループ活動助成金事業について報告があった（資料なし）。過去 3 年間当事業への募集がなかったことを踏まえ、今年度の募集は一旦停止する決定を行ったこと、今後、事業の再検討を行うこと、について説明が行われた。

質疑等

なし

(7) 若手研究者への国際学会参加支援助成金について

岡田学術研究委員会委員長より、若手研究者への国際学会参加支援助成金の創設について報告があった（報告 7 資料）。若手研究者への国際学会参加を学会として後押しする目的であること、学会への参加費および英文校閲費が助成対象となること、などについて説明が行われた。

質疑等

なし

(8) 第 23 回研究大会について

粉川大会運営委員会委員長より、第 23 回研究大会について報告があった（資料なし）。明日から研究大会がオンラインで開催されること、300 名以上の方が参加申し込みされていること、懇親会の開催方法として「oVice」という新しいコミュニケーションツール

を用いること、第 24 回研究大会の開催校が未決定であること、などについて説明が行われた。

質疑等

なし

(9) ノンプロフィット・レビュー投稿規程改正について

桜井編集委員会委員長より、ノンプロフィット・レビュー投稿規定改正について報告があった（報告 9 資料）。この間に投稿規定を 2 回変更していること、新たに「実践報告」という投稿枠組みを設けたこと、研究倫理の重要性が高まっておりその旨を規程にも含めたこと、などについて説明が行われた。

質疑等

なし

(10) 第 19 回日本 NPO 学会賞受賞作品について

岡本学会賞選考委員会委員長より、第 19 回日本 NPO 学会賞の選考結果について報告があった（報告 10 資料）。今回は計 13 点の応募があったこと、林雄二郎賞として菅野拓氏の『つながりを生み出すイノベーション：サードセクターと創発する地域』が、優秀賞として原田峻氏の『ロビイングの政治社会学：NPO 法制定・改正をめぐる政策過程と社会運動』が、そして、選考委員会特別賞として認定特定非営利活動法人 NPO 会計税務専門家ネットワークの『福祉サービスに関する法人税課税問題研究報告書』がそれぞれ選定されたこと、について説明が行われた。

質疑等

なし

議長

石 田 祐 印

議事録署名人

青 尾 謙 印

菅 野 拓 印
